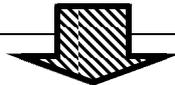


道徳指導展開案（略案）

江刺市立岩谷堂小学校 千葉正司

- 1 日時 平成16年9月8日（水）3校時
- 2 対象 江刺市立岩谷堂小学校 第3学年 1学級（男15名 女17名 計35名）
- 3 主題名 あいてのことを考えたれいぎ 「2-(1)礼儀」
- 4 資料名 しつれいおばさん（出典 みんなのどうとく3年 学研）
- 5 ねらい お互いに気持ちよく過ごすためには、礼儀が大切であることを知り、礼儀正しくしようとする心を育てる。
- 6 展開案

段階	活動のねらい	学習活動	指導上の留意点
指導に先立って	<p>日常の体験や、そこで自分や自分以外の人を感じたことについて、目を向けさせる。</p> <p>ほっとカード 設問1「挨拶をしなさい」とよく言われるのはどうしてでしょう。 設問2 礼儀正しいなあと思うのはどんな人ですか。その人を見て、どう感じましたか。</p>	<p>・「ほっとカード」に自分や自分以外の人を感じたことについて記録する。</p>	<p>・「礼儀」にかかわって、児童がどんな意識をもっているかつかむ。</p>



段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 3分	<p>1, 本時の学習に興味・関心をもつ。 礼儀正しい人について、みなさんの中から、2人の書いたものを紹介します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 君は、挨拶をきちんとするんだなあ。僕もしてるよ。</li> <li>・ さんは丁寧な言葉で話している。そのことを××さんは、見習いたいと思っているんだなあ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 礼儀正しい人について具体名を挙げて想起している児童の「ほっとカード」の記述を取り上げ、今日の学習内容と、自分たちの生活が結び付いていることに気付かせる。</li> </ul>
展開前段 22分	<p>2, 資料「しつれいおばさん」を聞いて、気持ちのよい礼儀について話し合う。</p> <p>「しつれいおばさん」のお話を聞いて、どんなことを感じましたか。</p> <p>「しつれいおばさん」は、どんな気持ちで子どもたちに「失礼というものよ。」と言っているのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口うるさいおばさんだ。</li> <li>・ 悪いことは悪いと叱る人だ。</li> <li>・ おばさんは失礼ではなく、失礼なことをした人を正す人だ。</li> <li>・ 怖いおばさんだと思っていたけれど、実は優しいおばさんだ。</li> <li>・ 子どもの方が失礼だ。</li> <li>・ マナーをちゃんと分かってほしいから。</li> <li>・ 失礼なところは直してほしいから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会話文では、表情豊かに印象的に読み聞かせる。同時に、挿絵の拡大コピーと状況理解を促す紙板書を黒板に貼る。</li> </ul>
展開後段 15分	<p>3, 役割演技をし、ねらいとする道徳的価値に対する多様な価値観にふれる。 また、道徳的価値を自分との結び付きでとらえる。</p> <p>みっちゃんは、感想が言えなかったね。そのとき「しつれいおばさん」は、どんな気持ちで「失礼というものよ。」と言ったのでしょうか。</p>	<p>【演じる時の観点】 おばさん（みっちゃん）になり切って、その時の気持ちを考えながら。</p> <p>【観る時の観点】 感じたことを後で話せるように。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割演技をする際のグループは、普段の生活班とする。</li> <li>・ 演技のウォーミングアップをさせ、抵抗感を和らげる。</li> <li>・ 役割演技に先立ち、観点を示す。せりふも短くする。</li> </ul>

	<p>おばさんとみっちゃんに、なり切って演じてみましょう。</p> <p><b>【グループでの役割演技】</b></p> <p>お互いに演じ合ってみて様々なことを感じたと思います。</p> <p>どんなことを感じましたか。<b>【意図的指名】</b> C1はどんな気持ちで表現したのですか。 C1、みんなに見せてあげて。</p> <p><b>【話し合いを深める際の代表の役割演技】</b></p> <p>どんな気持ちが変わってきましたか。</p> <p>子どもたちが、素直に「はい。」とやり直すのはどんな気持ちからでしょうか。</p> <p>何でそんなに好きなのでしょう。</p> <p>おばさんは礼儀正しさのことを伝えたかったようですが、みっちゃんはなんと言えばよかったのでしょうか。</p> <p><b>【体験して実感する役割演技】</b></p> <p>みなさん、このお話の「しつれいおばさん」と子ども達のような出来事はありませんか。それはどうしてでしょうね。</p> <p>4、今までの体験を思い出して礼儀正しくされて気持ちよかったことを話し合う。今までに礼儀正しくされて気持ちがよかったことはどんなことですか。</p> <p><b>【意図的指名】</b></p>	<p>おばさん「どう、面白かった。」 みっちゃん「・・・」 おばさん「相手にたいして失礼というものよ。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その子が大人になって困らないようにと思って。</li> <li>・あいさつをきちんとすると気持ちいいから。</li> </ul> <p>・C1の「しつれいおばさん」がよかったと思う。</p> <p>・いい人になってほしい。</p> <p>おばさん「どう、面白かった。」 みっちゃん(教師)「・・・」 おばさん「相手にたいして失礼というものよ。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みっちゃんに優しく教えてあげる感じ。</li> <li>・将来のことを考えて注意している感じ。</li> <li>・とても優しい声で言っていた。</li> <li>・やっぱり失礼だったなと思ったから。</li> <li>・大人になる前に直して、礼儀正しくなると思うから。</li> <li>・おばさんのことが大好きだから</li> <li>・いつも注意するけれど、本当は優しいということが伝わってくるから。</li> <li>・おばさんが優しくて素直な人だということ子ども達は分かっているから。</li> </ul> <p>・楽しかったよ。 ・明日も聞きたいな。 ・ぼく面白かったよ。もう一度聞かせてよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんです。ご飯を食べるときのマナーです。肘は付かないなど。ちょっとうるさいなあと思うけれど、次は直そうと思う。</li> <li>・周りの人を嫌な気持ちにさせてしまう。そんな人になってほしくないから。</li> </ul> <p>・1年生に優しくした時、きちんと目を見ながら「ありがとう」と言われた。その時、気持ちが良かった。心がつながっている気がした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物に自我関与し心の中を声に出して演技を行わせる。</li> <li>・教師は機会をとらえて横から補助的発問をしたり助言したりすることにより、より深く考えさせる。</li> <li>・代表の演技から、感じたことを発表させ、観点に沿いグループで演技したことを確認させる。ねらいとする道徳的価値に気付いていない児童にも広める。</li> <li>・お互いに相手のことを考えることが、真心のこもった礼儀正しさだと気付かせるようにする。</li> <li>・礼儀正しさについて、自分との結び付きでとらえた上で、実践的におばさんに話しかける形で、望ましい受け答えをさせ、ねらいとする道徳的価値を実感させる。</li> <li>・真心がこもっていた例が出るように、意図的指名をする。出ない場合は、教師の方から体験談を示す。</li> </ul>
<p>終末 5分</p>	<p>5、本時のまとめをさせる。今日の学習を振り返って、感じたことを「ほっとカード」に書きましょう。</p>	<p>・これからは相手がどんな気持ちになるのだろうと考え、お互い分かり合いながら話したり、あいさつをしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする道徳的価値に対する自分なりの思いや考えをまとめさせ、日常に生かされていくように意識付けを図る。</li> </ul>